

小城市立岩松小学校
学校だより 第13号



岩松小だより

令和7年6月27日発行
発行者 校長 真子靖弘

「平和」について考える その①

6月23日の**沖縄慰霊の日**に合わせ、
「平和」をテーマにした**人権教室**を



6/19(木)に実施しました。6月23日は、太平洋戦争末期に、日本で唯一住民を巻き込んだ地上戦が行われた沖縄戦の組織的戦闘が終結したとされる日です。多くの尊い命が失われたこの悲劇を忘れず、二度と戦争を繰り返さないという平和への誓いを新たにす

る日として、沖縄県では公休日と定められています。人権教室では、上学年と下学年に分かれ、それぞれ異なる視点から平和について学びました。上学年では、**石橋教諭**が80年前の沖縄戦の悲惨な実態を中心に話し、**平和な世の中を築くために自分たちに何ができるのか**を一人ひとりが考えました。下学年では、**山崎教諭**が絵本「へいわってどんなこと？」(浜田桂子著)を用いながら、日々の平和な生活の有り難さ、一人ひとりの命の尊さについて語りかけました。その中で、子どもたちと次のことを再確認しました。

・**友達を傷つける言葉**(「だまれ」「きもい」「あっち行って」

「じゃま」「うざい」「しね」など)を**発しない**。



・**友達を傷つける行動**(「ばかにする」「仲間外しをする」「叩く、蹴る」「無視する」など)を**しない**。

これらの「**友達を大切にする行為**」は、**平和な社会を築くための大切な一歩**であると思います。ご家庭の日々の生活の中でも、ぜひお子様と「**異なる意見を尊重すること**」や「**暴力ではなく対話で問題を解決することの大切さ**」について話し合ってみてください。また、ロシアによるウクライナ侵攻など、国際社会では残念ながら今も紛争が続いています。対話ではなく、力で解決しようとするのが起こっている現状について、日本はどのように世界と関わっていけばよいのかなど、少し難しいかもしれませんが、ご家庭で話し合うきっかけにいただければ幸いです。

学校と家庭が連携し、**子どもたちが平和の担い手として成長できるよう**、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

図書館イベントで読書の楽しさ満開！

6/18(水)から25(水)まで、「**あじさい読書**」週間を実施しました。本を借りた子どもたちに折り紙のあじさいの花びらをプレゼントし、それを廊下の学年ごとの用紙に貼っていくと、**満開のあじさいの花が咲いていく**という、なんとも楽しい企画でした。子どもたちは、自分が借りた本で花びらを増やし、あじさいの花を完成させることに夢中になっていました。

また、6/20(金)から25(水)の昼休みには、**図書委員会**が中心となって「**ほたるまつり**」を開催しました。日替わりで



「**しおりコンテスト**」「**図書委員によるブックトーク**」「**たからさがし**」「**おすすめの本**」といった楽しい企画が盛りだくさんでした。特に、ブックトークは、大成功を収めました。今年のテーマは、私も大好きな動物「**犬**」。犬にまつわる様々な本を、図書委員の子どもたちが**手作りのフリップ**を使いながら、**テンポよく、そして魅力的に紹介**してくれました。図書館は満席になり、なんと30名ほどの子どもたちが立ち見で参加するほどの熱狂ぶりでした。『本を借りることを通して読書の楽しさを感じてもらおう』という今回の企画の目的が十分に達成されたと感じました。

わんぱくタイムでリーダーシップと協働

6/19(木)、子どもたちが楽しみにしている縦割り班活動「**わんぱくタイム**」を実施しました。あいにくの雨で運動場での活動はできませんでしたが、各教室を使い、班ごとに工夫を凝らした活動が行われました。特に素晴らしかったのは、**6年生のリーダーシップ**です。それぞれの班で、6年生が中心となり、下級生をリードしながら活動を進めていました。私が見に行った班では、子どもたちが協力して机をうまく配置し、「**蛇ジャンケン**」で大盛り上がり！教室中に笑い声が響いていました。

